

PRO-LIFE NEWS

(中絶に反対する運動)

〒780 高知市新本町一丁目七番三十一号

ピルを

飲んだ結果

社会人一年生として、私は営業を担当する事になりました。その最初の営業会議で代表がくじで景品をもらえるのですが、私があたった物は子供向けのビデオでした。ご丁寧に一人も子供のいない私にあなたは何人子どもがいますか」という質問付きでした。

があるのでしょうか。ほとんどの女性はこの強力な薬に自分の体をさらすような結果になるか分かっていませんし、女性同士または、それぞれの配偶者に避妊薬と不妊症の關係について知らせようと努めています。

避妊薬には主に二つの種類があり、大部分の女性になじみ深いのは「ピル」です。ピルはエストロゲンとプロゲストシエンという女性ホルモンを含んでいて、この配合によってピルを飲んでいる周期中、排卵が妨げられるのです。二つ目の物は、プロゲストシエンだけを含まため「ミニピル」と呼ばれていま

ませんが、経口避妊薬を止めても生理が完全に戻って、妊娠できるようになるまでに遅れが生じたりするので。ピルの製造元サールの研究によると、この妊娠の遅れは、もしその女性がまだ出産経験がなく、30才を過ぎていないなら、ピルを飲むのを止めてから、72ヶ月まで続く可能性があるとこの事です。30才以下で出産経験のない女性は48ヶ月の遅れを経験しています。ピルを二年以上飲み続けている女性はもっと長い間の遅れを経験する傾向にあります。出産経験のある女性も年齢に関わらず、遅れは免れません。30ヶ月続く可能性があります。

もちろん私達に子どもがいないのは会社のせいではありません。でも、私は異常である事に飽き飽きしていました。不妊症と言われて五年…どうして子どもに恵まれないのだからとその原因を私はまだ探しています。結婚した当初、私達は子どもは都合の良い時に産めば良いと考え、余り深く考えないで避妊薬を飲みました。避妊薬と不妊症には何か関連

があるのでしょうか。ほとんどの女性はこの強力な薬に自分の体をさらすような結果になるか分かっていませんし、女性同士または、それぞれの配偶者に避妊薬と不妊症の關係について知らせようと努めています。

避妊薬には主に二つの種類があり、大部分の女性になじみ深いのは「ピル」です。ピルはエストロゲンとプロゲストシエンという女性ホルモンを含んでいて、この配合によってピルを飲んでいる周期中、排卵が妨げられるのです。二つ目の物は、プロゲストシエンだけを含まため「ミニピル」と呼ばれていま

ませんが、経口避妊薬を止めても生理が完全に戻って、妊娠できるようになるまでに遅れが生じたりするので。ピルの製造元サールの研究によると、この妊娠の遅れは、もしその女性がまだ出産経験がなく、30才を過ぎていないなら、ピルを飲むのを止めてから、72ヶ月まで続く可能性があるとこの事です。30才以下で出産経験のない女性は48ヶ月の遅れを経験しています。ピルを二年以上飲み続けている女性はもっと長い間の遅れを経験する傾向にあります。出産経験のある女性も年齢に関わらず、遅れは免れません。30ヶ月続く可能性があります。

もちろん私達に子どもがいないのは会社のせいではありません。でも、私は異常である事に飽き飽きしていました。不妊症と言われて五年…どうして子どもに恵まれないのだからとその原因を私はまだ探しています。結婚した当初、私達は子どもは都合の良い時に産めば良いと考え、余り深く考えないで避妊薬を飲みました。避妊薬と不妊症には何か関連

があるのでしょうか。ほとんどの女性はこの強力な薬に自分の体をさらすような結果になるか分かっていませんし、女性同士または、それぞれの配偶者に避妊薬と不妊症の關係について知らせようと努めています。

避妊薬には主に二つの種類があり、大部分の女性になじみ深いのは「ピル」です。ピルはエストロゲンとプロゲストシエンという女性ホルモンを含んでいて、この配合によってピルを飲んでいる周期中、排卵が妨げられるのです。二つ目の物は、プロゲストシエンだけを含まため「ミニピル」と呼ばれていま

ませんが、経口避妊薬を止めても生理が完全に戻って、妊娠できるようになるまでに遅れが生じたりするので。ピルの製造元サールの研究によると、この妊娠の遅れは、もしその女性がまだ出産経験がなく、30才を過ぎていないなら、ピルを飲むのを止めてから、72ヶ月まで続く可能性があるとこの事です。30才以下で出産経験のない女性は48ヶ月の遅れを経験しています。ピルを二年以上飲み続けている女性はもっと長い間の遅れを経験する傾向にあります。出産経験のある女性も年齢に関わらず、遅れは免れません。30ヶ月続く可能性があります。

もちろん私達に子どもがいないのは会社のせいではありません。でも、私は異常である事に飽き飽きしていました。不妊症と言われて五年…どうして子どもに恵まれないのだからとその原因を私はまだ探しています。結婚した当初、私達は子どもは都合の良い時に産めば良いと考え、余り深く考えないで避妊薬を飲みました。避妊薬と不妊症には何か関連

があるのでしょうか。ほとんどの女性はこの強力な薬に自分の体をさらすような結果になるか分かっていませんし、女性同士または、それぞれの配偶者に避妊薬と不妊症の關係について知らせようと努めています。

避妊薬には主に二つの種類があり、大部分の女性になじみ深いのは「ピル」です。ピルはエストロゲンとプロゲストシエンという女性ホルモンを含んでいて、この配合によってピルを飲んでいる周期中、排卵が妨げられるのです。二つ目の物は、プロゲストシエンだけを含まため「ミニピル」と呼ばれていま

ませんが、経口避妊薬を止めても生理が完全に戻って、妊娠できるようになるまでに遅れが生じたりするので。ピルの製造元サールの研究によると、この妊娠の遅れは、もしその女性がまだ出産経験がなく、30才を過ぎていないなら、ピルを飲むのを止めてから、72ヶ月まで続く可能性があるとこの事です。30才以下で出産経験のない女性は48ヶ月の遅れを経験しています。ピルを二年以上飲み続けている女性はもっと長い間の遅れを経験する傾向にあります。出産経験のある女性も年齢に関わらず、遅れは免れません。30ヶ月続く可能性があります。

勇氣と善行の遺産

ブライアンは、私達に本当に素晴らしい勇氣と善行の遺産を残してくれました。私が妊娠5ヶ月の時、複合動脈硬化症を患っていたので、主治医からは治療のため、中絶を勧められていました。でも、私には主人をはじめ、私を支えてくれる素晴らしい家族に恵まれていたので、勇氣と信念を持って、赤ちゃんを産む決心をする事が出来ました。しかし、周りを見渡してみると、今日、多くの女性が、私を得たような支えを得る事が出来ず、人生に於いて、最も重要な決断を下さなければならぬ時に、基本的に一人ぼっちにされている事が多いようです。私達は皆過ちを犯す者ですが、誤った決断の中には、修正可能な物もあります。中絶は取

り返しのつかない物なのです。

ブライアンは医者が私に中絶を勧めた事を知っていました。でもそれは、ブライアンを襲った最初の死の危機に過ぎませんでした。実際、ブライアンは何度も死の危機にさらされたのです。彼は、3才から5才までの間に腸の癒着のため、4回も手術を受けています。それから、16才までは元気でしたが、不幸にも、私と同じ複合動脈硬化症になってしまい、成長期にあった彼の方は非常に活発に病気が進んでいきました。治療のために飲んだかなりのステロイド剤で胃壁に穴が開き、再び、私達はブライアンを危うく失うところだったのです。ブライアンの成長は22才で止まりました。複合動脈硬化症は緩和状態に入ったので、今まで正規の学校に行く事が出来なかった彼は超音波テクノ

ロジーを学ぶための学校にすぐに入学しました。

(超音波は、音の波を使って、人間の体内の画像を映し出すとする物で、特に、子宮内の子供を見るために使われます。) 2年後彼は超音波の技術者になりました。モニターに映る小さな、動いている赤ちゃんを見ながら、胎児は私達に関心を持ったり、保護するに値する小さな特別な人間である事を確信しました。彼は産まれる前の人間の生命に、より大きな喜びを得るかも知れないと思う人々にはビデオの沈黙の叫びを度々送っていました。ブライアンは又、看護ホームでお年寄りの患者のために、スクリーンをする仕事もしていました。これらの仕事を通して、全ての人間の生命は、妊娠という自然なスタートから、死という自然な結末まで、神聖な物であるという信念を彼は更に強めました。

白血病になり、それが再発した時、「この病気でぼくが死ぬとしても、最後まで戦うよ。」と医者に言った彼は素晴らしい勇氣を持って、その通りにしました。彼自身の痛みを通して、彼は困難にあつていて、人の気持ちの思いやる事が出来ましたし、樂觀的で、静かで深い信仰のため、他の多くの人々にたくさんの愛と良い手本を与える事が出来ました。近所に住む12才のマシューも同じ白血病と戦っている

と聞いて、彼はマシューに近くにおいて欲しくないと思いました。自分が病気に負けるのをマシューが見ると、彼をがっかりさせてしまふと考えたからです。しかし、彼はキリストの受難を胸に、マシューのために毎日午後3時に特別な祈りを捧げました。悲しい事に、マシューもブライアンの死後数週間ではなくなりました。

私達のほとんどよりもっと苦しんだ彼らのような人々のために、神様は特別な場所を天の御国に用意して下さっていると私は確信しています。今は、ブライアンもマシューも主の御手とマリアの腕の中で安らかにいる事でしょう。ブライアンは、たくさん辛い目にあつて、困難な人生を送つたと思えます。でも、ブライアンの歌が悲しい物だとは思わないで下さい。彼は素晴らしいユーモアもありましたし、笑顔を絶やさない人でもあつたのです。クリスマス

の時期に彼を失う事はとても耐え難い事でしたが、彼と共にいる事が出来た感謝を私達に思い出させます。もし、あの妊娠5ヶ月の時、主治医の忠告を受け入れていたら、私達は、生まれる前に彼を失っていたのです。そして、私達の人生ももっとわびしい物となつたでしょう。

う。ブライアンは、深い愛や、忍耐力、困難にある恵みや勇氣、そして神様への真の信仰を持って、私達をはるかに豊かにしてくれました。

ブライアンを思いながら、私達は彼の戦いを続けています。第一に、私達は白血病の治療の発見に助力しています。二番目に世界のガンである中絶をこの世から取り除くため必要な限りこれからもずっとブライアンの戦いを続けていくつもりです。

[Issues1993]

プロ・ライフの運動に関わっている人は胎児の泣き声と障害を持つ人の叫び声、そして、お年寄りのささやきが聞こえている人です。

男女関係

男女を結び付ける究極の要因は愛情である。セックスは欲求を満たすための利己的行為ともなりうるが、もちろん、深い愛情表現の手段として不可欠である。だが、10代の青年がガールフレンドに向かつて、僕たち愛し合っているんだしいいだろっ？とセックスを強要するのはどこか間違っているのではないか。

我々は「愛している」という心地よい響きの言葉を使って愛情表現しているが、その背後にある心理は、時と場合によって、微妙に差があるようだ。例えば、一方はセックスが目的で、口先だけで愛を語り、他方は心底から愛していると言っている場合もお互いの本意は、あの短いささやきからは測りようがない。

い。この「愛している」の二面性は、特に若い男女に当てはまる事が多い。こうしたささいない違いが、結果として世に過ち(つま

り妊娠、中絶など)を送り出しているように思う。

数年前、ウィリアム・サイモン博士が性調査学会の後援で行った、全国の大学生の性意識調査で、とても興味深い結果が得られた。氏の報告によると、59%の女子学生が、婚前交渉を持った相手を愛し、結婚したいと考えている。残りのうち23%は、結婚までは考えていないが愛している

と答えた。女子全体の82%が、セックスの動機を愛と考えている事になる。次に男子の回答を見ると、実に対照的である。初体験の相手を愛し、結婚したいと考えているのは、わずか11-14%にすぎない。結婚までは考えていないが愛している、は16-19%。トータルでも31%と、

女子の82%とはかなり開きがある。

男性の皆さんはこの数字をご覧になって、どう思うだろうか。女性との差にびっくりする人はいたとしてもごくわずか、たいていの人は、そんなものさ、と笑い飛ばすに違いない。

世の父親達は大事な娘が10代のうちに、言い寄ってくる男の甘い言葉にだまされてはいけなさと教える必要があるのではないか。そして青年には、男がささやく愛の言葉を、女の子は彼の本心からの気持ちだと信じているのだと、知って欲しい。純真でだまされやすそうなタイプの子をくどくどときほど、よく考えてから行動してほしい。それによって、妊娠や中絶の件数も減少していく事だろう。

(ジョン・C・ウィルキ 医学博士)

生命誕生の瞬間

人間の生命はいつから始まるのか。

科学者は精子が卵子と結合する瞬間を人間の生命の最初であると認識している。その卵子はこの受精の瞬間までは、女性の一生の生殖期間に排卵される約100個の卵子と全く同様に、真っ直ぐに子宮へとたどり着く。しかし、受精の瞬間からこの卵子、卵細胞は全く異なった運命を担うことになる。精子が卵子の中に入り込み、精子の細胞核からの15000個の遺伝子と卵子の細胞核からの15000個の遺伝子がそれぞれ個々に結合する。それはまさしく、人間の一生において最も早い段階で新しく生まれた人間であると言える。

この新しい生命は、非常に小さいにもかかわらず、

すでにこの世に存在する他の人間と同じ人類の一員であり、これからの成長発達のための青写真、未来図であることを指す通常46本の基本的な染色体構造を持っているのである。

この新しく宿った人間は重さわずか0.004ミリグラムで、直径わずか0.1ミリメートルの長さである。最初はこの文の終わりの句点よりももっと小さいが、その新しい生命はたちまち驚くべき速さで成長し始めるのである。

(FHR1987)

二つの道

高校3年の時、Jさんは自分が妊娠している事がわかりました。中絶したくなかったので、何かほかの方法はないかしらと考え、学校のカウンセラーを尋ねました。そこで、妊娠したことがとても絶望的のように思わされて、カウンセラーが提案し、勧めた中絶をうけました。

予定外の妊娠をした女性にはひどく圧迫された状況の下にあるので、子どもを産むか、あるいは妊娠を終わらせるか分別のある決定をくだせない事が多いのです。自分が忠告を求めた人のなすがままになつて、多くの場合、中絶しなくてよい方法を捜し求めようとすれば、必ずしも手助けにならず、結局中絶することになつてしまふ。

Jさんの場合、子ども誕生まで生活できる場所がほしかったのです。それから養子縁組みで子どもを譲るか、自分で育てるかを考えればよい。でも、彼女のカウンセラーはこのまま妊娠を続けることは、大学での計画や、生活設計の妨げになると思わせ続けました。出産してから、上記の二つのうちどちらを選ぶか考えればよいと助言してくれなかったのです。

HWRFA